

# [ 超簡単 SQS ! ]

## マークシート方式アンケートの処理マニュアル

① SQS は、アンケート作成からその処理までを支援するシステムですが、ここでは、当センターが作成・提供するマークシート方式の「インターネット利用に関する実態調査」用アンケート（児童生徒用・保護者用）を前提に、その処理方法に重点をおいて説明を進めます。

② パソコン（インターネット環境）とスキャナ機能を備えたコピー機または専用スキャナさえあれば処理対応は可能です。  
必要なソフトは全て WEB から無料で自由に入手できます。  
もう「正の字による集計作業」は不要です。

③ この処理方法を習得さえすれば、今度はマークシート方式のアンケート用紙を自作して、さまざまなアンケートの実施と処理が可能となります。  
もちろん学校評価等の多様なアンケートにも容易に活用できます。

◆ SQS (Shared Questionnaire System) は、千葉商科大学政策情報学部 准教授 久保裕也氏により開発されたオープンソースの共有アンケート実施支援システムです。

- I このマークシート処理 (SQS) のしくみ・あらまし … 1
- II SQS システムを使うために必要な環境をつくる … 2
- III アンケート用紙の取り扱いで注意すること … 3
- IV 回答済アンケート用紙をスキャンする … 4
- V スキャンしたデータを読み取りソフトで処理する … 6
- VI 終わりに (参考事項) … 10

## 岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口 2-82-13 電話 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564  
2015/08 作成 この資料は、表紙及び巻末資料を除き全 10 ページで構成されています。

## I このマークシート処理 (SQS) のしくみ・あらまし 簡単・早い・低コストが魅力

◆ この資料は、「インターネット利用に関する実態調査 (マークシート方式調査票)」の処理方法の説明のために、岩手県立総合教育センターが作成した「SQS 基本操作テキスト 2013」等を参考にして独自に作成したものです。下記から、SQS 操作の詳細テキスト (上記テキスト) を入手することができます。

・『岩手県総合教育センター sqs』で検索>

⇒ [http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/text/h24/h24\\_sqs\\_text.pdf](http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/text/h24/h24_sqs_text.pdf)

(1) SQS (Shared Questionnaire System : 共有アンケート実施支援システム) 上で、「SourceEditor」という調査表作成ソフトで作成されたマークシート方式のアンケート用紙の回答済のものを、スキャナによって画像データ (tiff 形式\*) として読み込み、そのデータを「MarkReader」という読み取り自動集計ソフトで処理して、集計結果 (集計表及び Excel 表) を得るものです。



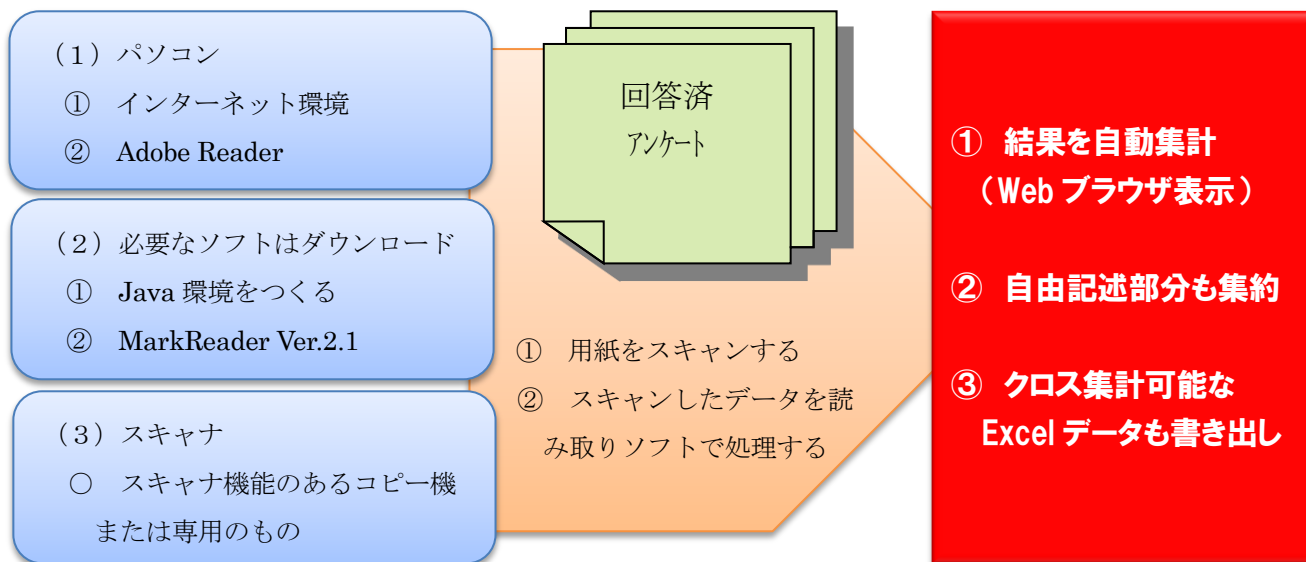
なお、上記のソフトは、全てオープンソース (特別なライセンスは不要で、一般公開されており、WEB から誰でも無料でダウンロードができる) となっています。

特別な専門知識がなくても、アンケートを簡単に素早く集計できるところが何よりの魅力です。間違いなく、「正」の字でのアンケート集計作業からは卒業できます。

**【これらさえ準備すれば・・・】**



**【こんなことができます!】**



(2) 上記の環境下によるアンケートの集計処理に要する時間については、パソコンやスキャナの性能等によって若干異なりますが、200 ページ分の処理を例に挙げると、概ね次のような目安となります。

①	回答済アンケート用紙のスキャン (→ tiff 形式*) (前後の操作時間を除く)	コピー機 : 2分程度
		専用スキャナ : 10分程度
②	ソフトによる tiff 形式*データの読み取り処理 (前後の操作時間を除く)	1分程度

\* 「tiff 形式 (tif)」 …… jpeg(jpg)、gif、png、bmp などと同じ画像データ形式のひとつです。

## II SQS システムを使うために必要な環境をつくる

コピー機か専用スキャナで

- ◆ 今回は、調査表作成ソフト「SourceEditor」は使用せず、当センターが既に作成したアンケート用紙（児童生徒用及び保護者用）の活用を前提として「読み取り集計」について説明を進めます。

なお、上記作成ソフトも同様のサイトからダウンロード可能ですので、集計方法に慣れれば、自作の調査表作成も容易にでき、様々なアンケート調査に活用可能となります。

(1) パソコン（Adobe Reader 及び IE 等の WEB ブラウザを備え、インターネット接続可能なもの）

(2) 必要なソフト等をダウンロードし、パソコンにインストールします。

- ① SQS システムの動作環境のため、Java をインストールします。（既に導入済みの場合は不要です）

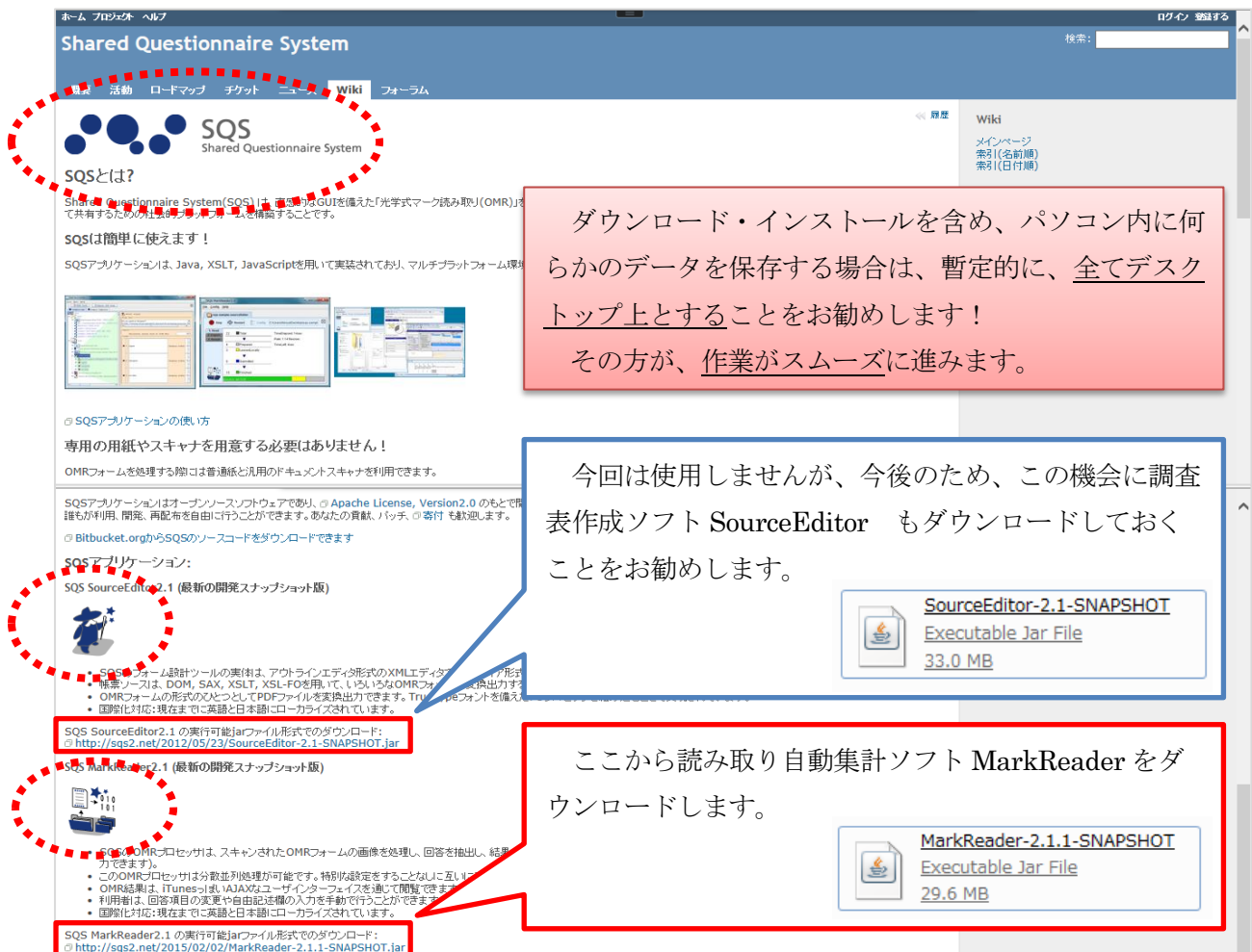
・『Java』で検索>



- ② 読み取り自動集計ソフト『MarkReader Ver.2.1』をインストールします。

・『SQS』で検索> 「Overview ja-Shered Questionnaire System」または「Shered Questionnaire System:Overview」を選んでクリックします。

⇒ [http://dev.sqs2.net/projects/sqs/wiki/Overview\\_ja](http://dev.sqs2.net/projects/sqs/wiki/Overview_ja)



The screenshot shows the website for the Shared Questionnaire System (SQS). Red dashed circles highlight the 'Wiki' menu item and the 'SourceEditor-2.1' download link. A blue callout box points to the 'SourceEditor-2.1-SNAPSHOT Executable Jar File' download link, and a red callout box points to the 'MarkReader-2.1.1-SNAPSHOT Executable Jar File' download link. A pink callout box explains that data should be saved on the desktop. A blue callout box notes that SourceEditor is not used but should be downloaded for future use. A red callout box indicates that MarkReader should be downloaded from the provided link.

ダウンロード・インストールを含め、パソコン内に何らかのデータを保存する場合は、暫定的に、全てデスクトップ上とすることをお勧めします！  
その方が、作業がスムーズに進みます。

今回は使用しませんが、今後のため、この機会に調査表作成ソフト **SourceEditor** もダウンロードしておくことをお勧めします。

ここから読み取り自動集計ソフト **MarkReader** をダウンロードします。

### (3) スキャナ (事務用コピー機または専用スキャナ)

- ① 専用スキャナがあれば、それを活用します。
  - ・岩手県立総合教育センターでは、「富士通 Scan Snap」が推奨されていますが、そのほかの機種のスキャナであっても、解像度 200dpi 以上であれば可能とされています。
  - ・富士通 Scan Snap は、『Scan Snap』で検索
- ② 最近のコピー機の多くは、スキャナ機能が備わっていることが多いので、その場合はコピー機を活用できます。(当センターでは、コピー機を使っています)
 

回答済みのアンケート用紙を一枚ずつ (両面一度に) スキャンして tiff 形式のデータを取り出します。(事前に tiff 形式で読み取ることを指定する必要があります)

ネットワークが構築されている場合は、スキャンしたデータを処理するパソコンに直送させます。コピー機のよいところは、回答済みのアンケート用紙を一度に表裏スキャンできるところです。
- ③ なお、tiff 形式でスキャンができない場合は、「一旦 pdf 形式で読み取ってから tiff 形式に変換する方法」も可能です。(「富士通 Scan Snap」は、その方法を用いています)
 

ただし、変換する際は、変換後の tiff 形式ファイルの容量が大きくなってしまふことがあります、そのため『MarkReader Ver.2.1』による読み取りがうまくいかない場合もありますので注意が必要です。  
1 ファイルあたり **【2桁】KB 程度**であれば、読み取りは十分可能であるようです。



## Ⅲ アンケート用紙の取り扱いで注意すること

これらのことには気を付けて

### (1) アンケート用紙の原稿データ (pdf) は、集計処理の際にも使用します。

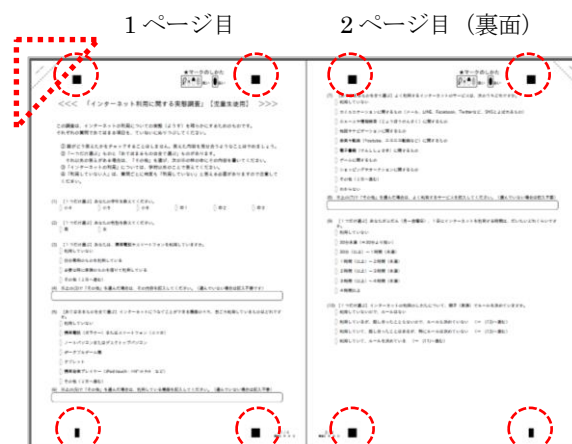
アンケート用紙の原稿は、pdf 形式で提供されます。調査表作成ソフト「SourceEditor」で作られた原稿は pdf 形式だからです。なお、この原稿データは、読み取り自動集計ソフト「MarkReader」で処理する際にも必要となります。

### (2) 原稿データ (pdf) で対象人数分を印刷またはコピーし、配布します。

使用する用紙は汎用のもので構いませんが、スキャンの都合上、白色に近いものがよいようです。鮮明にプリントされるように留意ください。

また、このアンケート用紙には、ステープラ (ホッチキス) で留める箇所が指定 (右図: 用紙の左上部分) されています。セット毎に留めて配布する場合は、回収後、点線に沿って切り落とすしくみです。

- ① **拡大や縮小はしない**でください。
- ② 印刷の際は、四隅の■がにじまないように注意してください。



### (3) アンケート用紙記入の際の留意点

- ① マークは、正しく濃く塗りつぶさせること
- ② 重複回答や未記入に留意させること
  - ・この場合はエラーとして読み取られ、出力結果の Excel 表には、次のように表示されます。
    - 【重複回答】⇒ セルがオレンジ色表示
    - 【未記入】⇒ セルが黄色表示
- ③ 間違えた箇所は、消しゴムできれいに消させること
- ④ 記述は、記述欄の枠内に収まるようにさせること
  - ・集計の際は、この枠部分を切り取って読み取られ、列記されます。
- ⑤ 基本的に、マーク記入部分及び自由記述欄以外には何も記入させないこと
  - どうしても文字や記号などを記入する必要がある場合は、アンケート用紙の四隅にある黒い■部分（前頁図参照）から最低でも 1cm 以上離してください。黒い■は、回答欄のマークの位置を正しく認識するために必要なものです。「読み取りエラー」が発生すると、その回答用紙の情報は読み取ることができません。

### (4) 回答済のアンケート用紙の扱いの留意点

- ① 上下、裏表を確認する。（アンケート用紙の原稿データの向きと同じにする）
- ② （複数ページの場合）ページの順序を整える。
- ③ ページの欠落、未記入シートが混ざっていないか確認する。
- ④ 用紙の傷みが大きいもの（汚れ、破れ、折り曲げ線など）はないか確認する。
- ⑤ 回答部分以外への書き込み（特に、用紙の四隅の黒い■周辺）はないか確認する。
- ⑥ マークの薄いもの、消し残しはないか確認する。
- ⑦ 必要があれば、修正や差し替えを行う。
- ⑧ できれば、ページ順に黒い■部分から 1cm 以上離れた下の位置にナンバリングしておくことをお勧めします。そうすることで、スキャンして画像データにしたときでも、個別に特定することが容易になります。（1セット全 4 ページのうちの 1 ページ目だけでも構いません）

## IV 回答済アンケート用紙をスキャンする

いよいよ本格処理の始まりです

- ◆ ここでは、スキャン機能を備えたコピー機（Fuji xerox DocuCentre-IVC4475）を例にして説明を進めます。他の機種のコピー機や専用スキャナについては、それぞれの取扱方法に基づき、同様に進めてください。  
なお、岩手県立総合教育センターが作成した「SQS 基本操作テキスト 2013」では、富士通 Scan Snap を例に説明（テキスト P32～35「II PDF から TIFF への変換」）していますので、参考にしてください。

- i) 専用スキャナがない場合でも、最近のコピー機はスキャナ機能を備えたものがほとんどです。自校（事業所等）にない場合でも、周辺校や教育委員会事務局の機器等を調べてみてください。手順さえ理解していれば、スキャンに要する時間はそれほど要しません。
- ii) 画像データの取り出し方については、①ネットワークによりメール送信する方法だけでなく、②他の媒体に保存する方法のものもあります。USB メモリを差し込んで保存することが可能な機器もかなり普及しています。

\* ここでは例として、用紙 1 セット 4 ページ × 70 名分 = 280 ページ分の画像データを取り上げて扱います。  
まず、数セットのアンケートサンプルを使い、以下の手順を試行したうえで、本格処理を進めてみてください。

(1) 前述の「回答済のアンケート用紙の扱いの留意点」をふまえて、回答済用紙をセット毎に整えます。

(2) メニュー設定 (機器によって設定のしかたは若干異なります)

- ① 「スキャナー (メール送信)」 (機器によっては、USB メモリなどの媒体への書き出しも可能)
- ② カラーモード : 白黒
- ③ 両面原稿送り : 詳細設定 ⇒ 両面 ⇒ 左右開き ⇒ (原稿セット向き指定)
- ④ 原稿の画質 : 文字
- ⑤ 出力ファイル形式 : 他の出力ファイル形式 ⇒ tiff ⇒ **1 ページずつ分割** ★1

★1 用紙 1 ページ毎にデータ 1 ファイルとする必要があるので、この指定を忘れないでください！複数ページを 1 ファイルにまとめてはいけません。 まとめてしまった場合は、分割する必要があります。

- ⇒ ○ 280 ページが 280 の tiff ファイル  
× 280 ページが 1 つの tiff ファイル

★2 画像データを (USB メモリ等に) 直接取り出す方法でなく、ネットワークによるメール送信の場合は、送信するデータ量の上限に留意する必要があります。

ネットワークによっては、上限以上のデータになってしまうと送信されない場合があります。(ちなみに当センターの場合、添付データが 5MB を越えると送信も受信もできません)

そのような場合は、複数回に分けてスキャンして、送信する必要があります。

⇒ 280 の tiff ファイルを 1 回でまとめて送ることができない場合は、例えば 280 を 100 と 180 の 2 回に分けるなどしてスキャンし、それぞれデータ (tiff ファイル) を (2 回に分けて) 送ります。

⇒ (参考) 「メールによるデータ送信」を選んだ場合、メールソフトにもよりますが、添付された tiff ファイルを一つひとつ当該フォルダに移す作業となる場合があります。(280 回も大変!?)

一つの対処法としては、スキャンしたデータを一旦 Gmail や Hotmail などのフリーメールに送るか、それぞれのクラウドに暫定保存すると自動的に ZIP フォルダ 1 つにまとめられて便利です。

(この場合は、あとで「展開」する必要があります。)

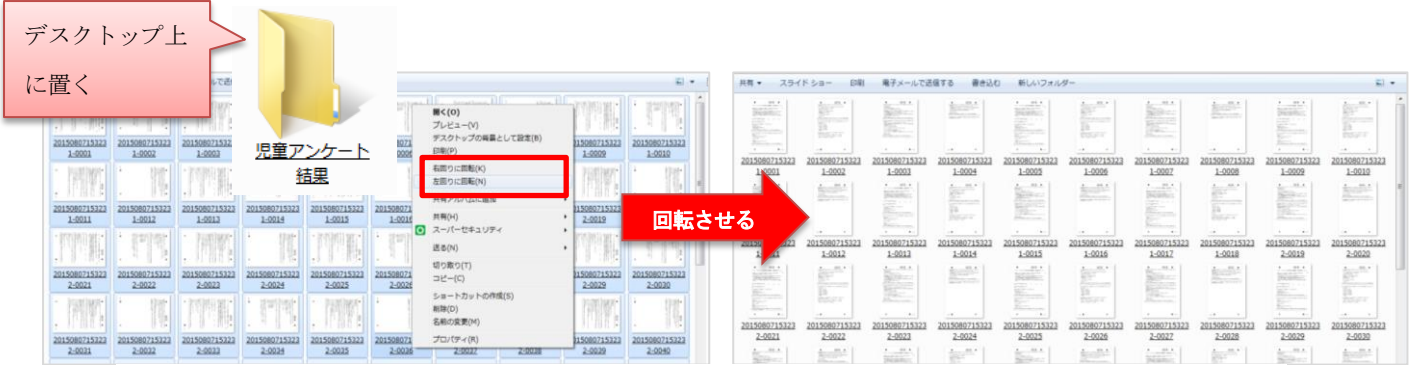
(3) 回答済アンケートをスキャンして取り出した tiff ファイルを 1 つのフォルダ (フォルダ名は任意ですので、ここでは『児童アンケート結果』というフォルダ名にします) にまとめます。

この際、さらに分類して集計したいような場合 (例 : 学年別等) は、スキャンの段階からそのように進め、複数フォルダに分けることも可能です。

★3 コピー機によるスキャンの場合、用紙の挿入方向のセットのしかた等によっては、読み込まれた画像データが横向きになったりすることがあります。次頁の図のように、画像データをプレビューして確認してください。

もしそのような状態の場合は、その画像データを指定し、右クリックで回転させて整えてください。

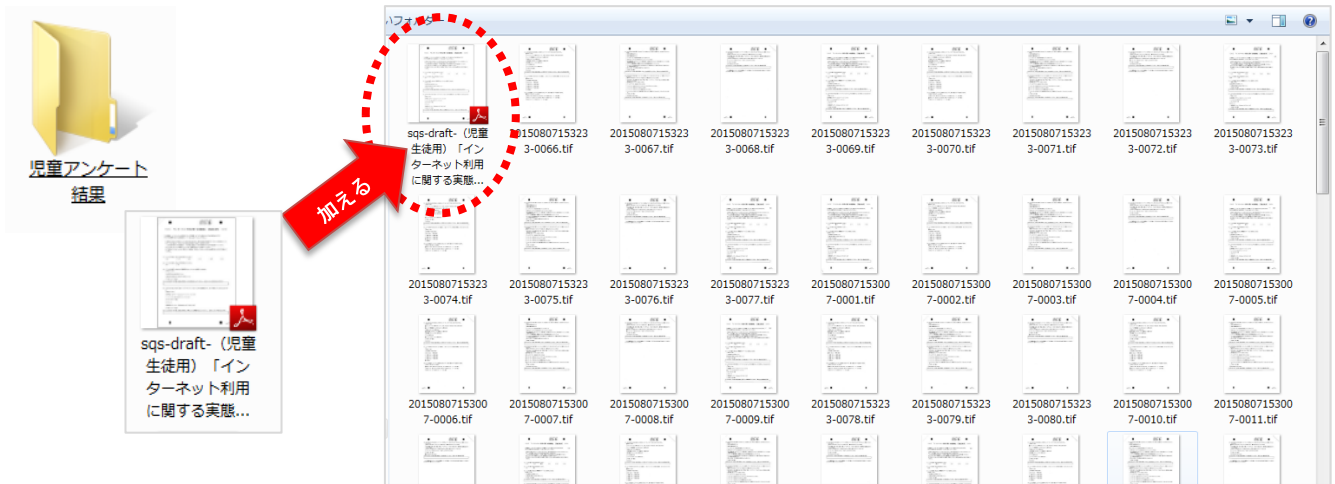
これが整えられていないと、正確な読み取り集計ができません。



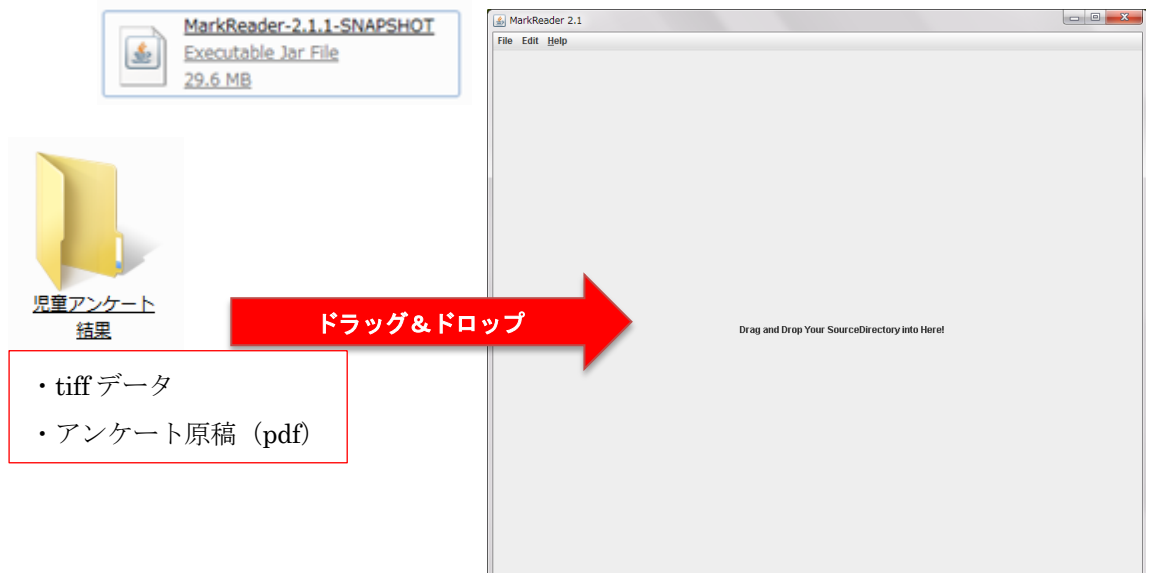
\* プレビューで画像が横になっているときは、右クリックして回転させ、縦に修正します。

## V スキャンしたデータを読み取りソフトで処理する *処理は間もなく終わります*

(1) tiff ファイルを、読み取り自動集計ソフト『MarkReader Ver.2.1』で処理して集計しますが、その前に、このアンケート用紙の原稿 (pdf) を、スキャンしたデータのフォルダ内に加えます。



(2) 読み取り自動集計ソフト『MarkReader Ver.2.1』を起動させ (下図のように、グレーのボックス調のもので)、その中にアンケート用紙の原稿 (pdf) を入れたフォルダ『児童用アンケート結果』をドラッグ&ドロップします。



(3) 読み取り処理が行われ、その結果がウィンドウに表示されます。

全ての処理が終了すると、この表示が出ます。

読み取ったシートのモニター表示

読み取り進捗表示

読み取りにかけたフォルダ名が表示されます。

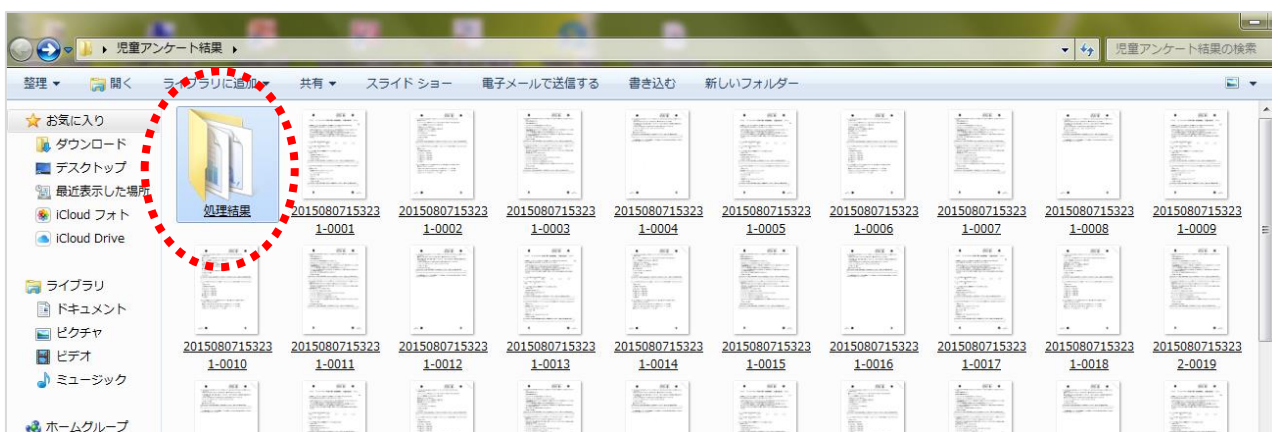
読み取りがうまくいった場合は、シート毎に OK 表示されます。

ちなみに、今回の 280 ページ分の処理時間は、前後の操作時間を除くと、わずかに 1 分でした。

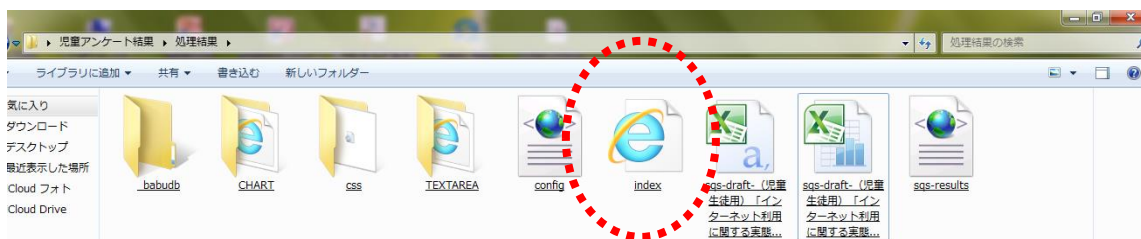
\* 「0/280」の表示 (例)

- 280 の画像データファイル
- 1 セット 4 ページ×70 名
- 処理数がリアルタイム表示

(4) 読み取り処理が終了すると、自動的に「児童アンケート結果」フォルダ内に『処理結果』というフォルダが作成されます。

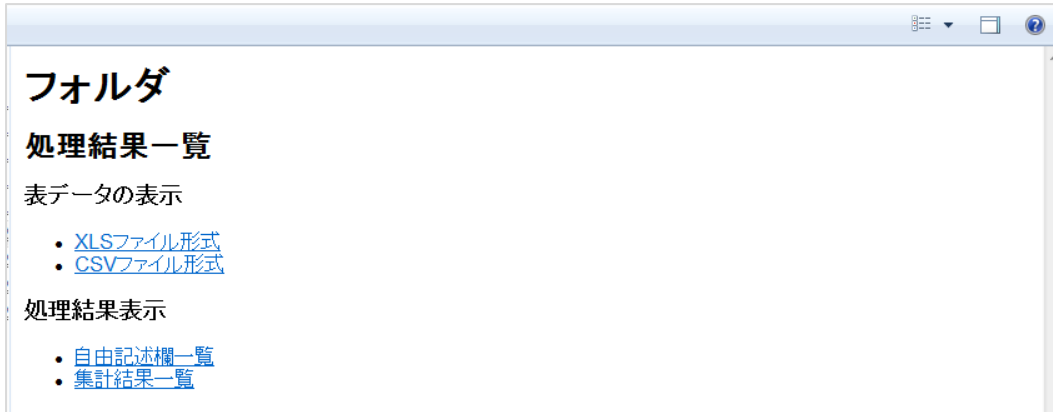


(5) 「処理結果」のフォルダを開くと読み取りデータ内容が表示されますので、「index(.html)」をクリックします。

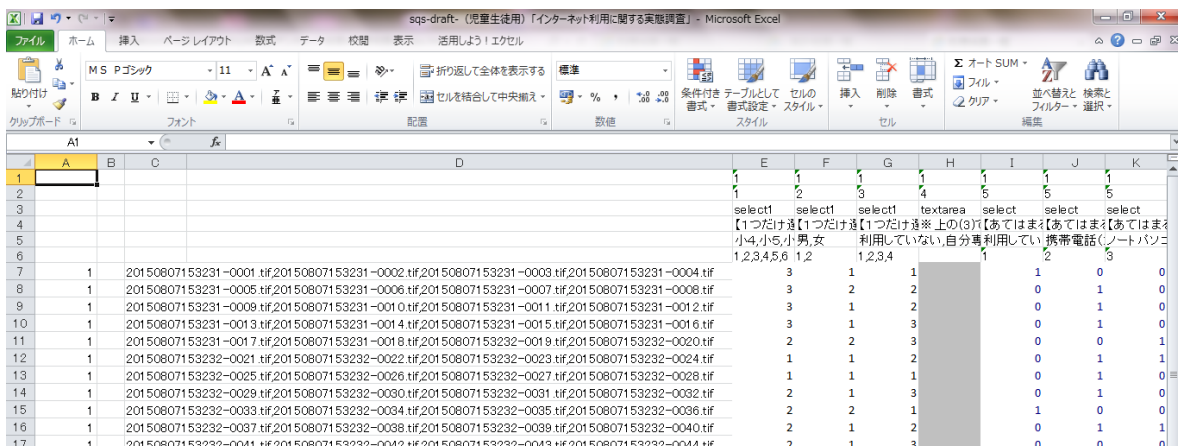


\* このフォルダ内は、大アイコンで表示しています。

(6) 処理結果一覧が表示されます。リンクの部分をクリックすれば、それぞれの内容が表示されます。



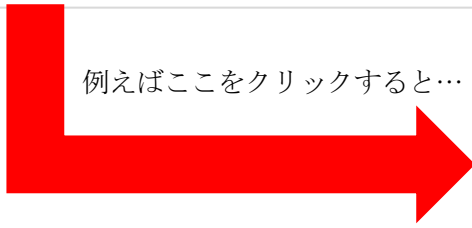
① 【XLS ファイル形式】



② 【自由記述欄一覧】

自由記述欄一覧

- (4) ※上の(3)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。(選んでいない場合は記入不要)
- (6) ※上の(5)で「その他」を選んだ場合は、利用している機器を記入してください。(選んでいない場合は記入不要)
- (8) ※上の(7)で「その他」を選んだ場合は、よく利用するサービスを記入してください。(選んでいない場合は記入不要)
- (12) ※上の(11)で「その他」を選んだ場合は、そのルールの内容を記入してください。(選んでいない場合は記入不要)
- (14) ※上の(13)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。(選んでいない場合は記入不要)
- (16) ※上の(15)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。(選んでいない場合は記入不要)



自由記述欄に記載された内容が、そのまま画像で列記されます。たとえ記載がなくとも、全員分が画像により表示されます。

自由記述欄一覧  
(16) ※上の(15)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。(選んでいない場合は記入不要)

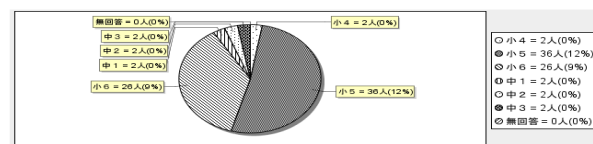
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	ネットでの検索はなし
33	
34	
35	
36	
37	
38	他のどの施設も利用していません
39	
40	
41	

③【集計結果一覧】

集計結果一覧

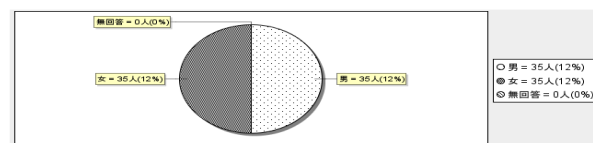
(1)【1つだけ選ぶ】あなたの学年を教えてください。

小4	小5	小6	中1	中2	中3	無回答	計
2	36	26	2	2	2	0	70
2%	51%	37%	2%	2%	2%	0%	100%



(2)【1つだけ選ぶ】あなたの性別を教えてください。

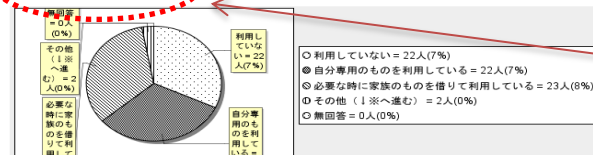
男	女	無回答	計
35	35	0	70
50%	50%	0%	100%



(3)【1つだけ選ぶ】あなたは、携帯電話やスマートフォンを利用していますか。

利用していない	自分専用のものを利用している	必要な時に家族のものを借りて利用している	その他(※へ進む)	無回答	計
22	22	23	2	0	69
31%	31%	33%	2%	0%	100%

※ 多重回答エラー1 (1%)を除外

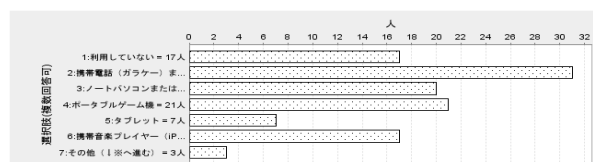


i) 選択肢ごとの単純集計とその割合、グラフ等が表示されます。  
ii) 設問(4)と(6)は、「その他」(記述欄)のため、この集計結果一覧には表示されていません。

「多重回答エラー」が1件あったため、合計が69 (サンプル総数は70) になっています。前述「①【XLSファイル形式】」(Excel表)の表示からそのページの特定は可能です。

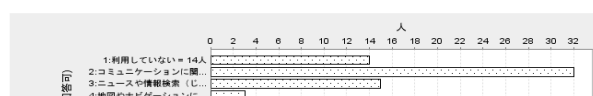
(5)【あてはまるものを全て選ぶ】インターネットにつなぐことができる機器のうち、日ごろ利用している

利用していない	携帯電話(ガラケー)またはスマートフォン(スマホ)	ノートパソコンまたはデスクトップパソコン	ポータブルゲーム機	タブレット	携帯音楽プレイヤー(iPad touch:タブレットなど)	その他(※へ進む)
17	31	20	21	7	17	3
24%	44%	28%	30%	10%	24%	4%



(7)【あてはまるものを全て選ぶ】よく利用するインターネットのサービスは、次のうちどれですか。

利用していない	コミュニケーションに関するもの(メール、LINE、Facebook、Twitterなど、SNSとよばれるもの)	ニュースや情報検索(じよほつけんさく)に関するもの	地図やナビゲーションに関するもの	音楽や動画(Youtube、ニコニコ動画など)に関するもの	電子書籍(でんしよせき)に関するもの	ゲームに関するもの	ショッピングやオークションに関するもの	その他(※へ進む)	わからない
14	32	15	3	30	11	26	15	3	1
20%	45%	21%	4%	42%	15%	37%	21%	4%	1%



\* 当センターが作成・提供したアンケート「インターネット利用に関する実態調査」(児童生徒用及び保護者用)の集計の場合、各質問(設問)の単純集計数値を入力するだけで、グラフが自動作成されるWord 2010ファイル(Excel 2010 データ連携を編集するスタイルで全国データとの比較もできます)が利用できます。下記からダウンロードしてご活用ください。  
⇒ HP まなびネットいわてトップページ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> >  
> トピックス『インターネット利用に関する実態調査』調査票・集計表

## VI 終わりに (参考事項)

読み取り処理ができれば、今度は自作です!

- (1) 読み取り自動集計ソフト「MarkReader Ver.2.1」の操作手順については、下記の資料もご活用ください。いずれも WEB 検索のうえ、入手してください。

なお、本資料作成に当たっては、これらの資料を参考にさせていただきました。

	資料名	発行者	Page	SourceEditor	MarkReader
①	学校評価支援システム SQS 基本操作テキスト 2013	岩手県立総合教育センター	67	○	○
②	SQS 操作手順 (取手市版) 2010年2月作成	取手市教育委員会	40	○	○
③	SQS 操作手順 (取手市版) MarkReader 2.1 による、アンケート調査票の自動集計手順 2013年8月作成	取手市教育委員会	8		○
④	SQS 操作手順 (取手市版) SourceEditor2.1 による、アンケート調査票の作成手順 2014年11月作成	取手市教育委員会	12	○	
⑤	「今あるプリンタとスキャナで校務をグッと効率化! アンケート作成・集計研修講座—SQS (共有アンケート実施支援システム) を活用して—」 2015/06/13	やまぐち総合教育支援センター 情報教育班	15	○	○

\* 取手市教委 HP には、SQS に関する資料が豊富に提供されています。『取手市教育委員会 SQS』で検索 ⇒ <http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0840002&frame=frm51b9532e5df73>

- (2) 当センターが作成・提供したアンケート用紙の処理方法の習得だけでは、他の多様なアンケート調査に広がりません。SQS (Shared Questionnaire System : 共有アンケート実施支援システム) のもう一つの柱である調査票作成ソフト「SourceEditor」を使ったアンケート自作こそが、次へのステップです。

作成は、案外簡単です。上記に掲げた資料 (①②④⑤) に詳細に説明されていますのでご活用ください。基本的にマークシート方式のアンケート作成は、「既存のものを修正 (再編集) する方法」で対応可能です。

- (3) この資料は、本県が進める教育振興運動全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組のうち、各市町村や実践区等でインターネット利用の実態調査を行うことを促すため、アンケート処理の簡便化方策の普及を目的に作成したものです。

この実態調査の集計のために SQS を利用されている場合は、設問ごとの集計数値を入力するだけで全国比較をしながらグラフが自動作成される Word ファイル (前頁参照) も併せてご利用ください。

- (4) この資料に関するお問い合わせ

岩手県立生涯学習推進センター  
〒025-0301 花巻市北湯口 2-82-13  
電話 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564





## <<< 「インターネット利用に関する実態調査」 【児童生徒用】 >>>

この調査は、インターネットの利用についての実態（ようす）を明らかにするためのものです。  
それぞれの質問であてはまる項目を、ていねいにぬりつぶしてください。

- ① 誰がどう答えたかをチェックすることはしません。答えた内容を見せ合うようなことはやめましょう。
- ② 「一つだけ選ぶ」ものと「あてはまるものは全て選ぶ」ものがあります。  
それ以外の答えがある場合は、「その他」を選び、次の※の枠の中にその内容を書いてください。
- ③ 「インターネットの利用」については、学校以外のことで答えてください。
- ④ 「利用していない人」は、質問ごとに何度も「利用していない」と答える必要がありますので注意してください。

(1) 【1つだけ選ぶ】あなたの学年を教えてください。

- 小4       小5       小6       中1       中2       中3

(2) 【1つだけ選ぶ】あなたの性別を教えてください。

- 男       女

(3) 【1つだけ選ぶ】あなたは、携帯電話やスマートフォンを利用していますか。

- 利用していない  
 自分専用のものである  
 必要な時に家族のものを借りて利用している  
 その他（↓※へ進む）

(4) ※上の(3)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要です）

(5) 【あてはまるものを全て選ぶ】インターネットにつながることができる機器のうち、日ごろ利用しているものはどれですか。

- 利用していない  
 携帯電話（ガラケー）またはスマートフォン（スマホ）  
 ノートパソコンまたはデスクトップパソコン  
 ポータブルゲーム機  
 タブレット  
 携帯音楽プレイヤー（iPod touch：アイポッドタッチ など）  
 その他（↓※へ進む）

(6) ※上の(5)で「その他」を選んだ場合は、利用している機器を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

★マークのしかた



(7) 【あてはまるものを全て選ぶ】よく利用するインターネットのサービスは、次のうちどれですか。

- 利用していない
- コミュニケーションに関するもの（メール、LINE、Facebook、Twitterなど、SNSとよばれるもの）
- ニュースや情報検索（じょうほうけんさく）に関するもの
- 地図やナビゲーションに関するもの
- 音楽や動画（Youtube、ニコニコ動画など）に関するもの
- 電子書籍（でんししょせき）に関するもの
- ゲームに関するもの
- ショッピングやオークションに関するもの
- その他（↓※へ進む）
- わからない

(8) ※上の(7)で「その他」を選んだ場合は、よく利用するサービスを記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

(9) 【1つだけ選ぶ】あなたがふだん（月～金曜日）、1日にインターネットを利用する時間は、だいたいどれくらいですか。

- 利用していない
- 30分未満（＝30分より短い）
- 30分（以上）～1時間（未満）
- 1時間（以上）～2時間（未満）
- 2時間（以上）～3時間（未満）
- 3時間（以上）～4時間（未満）
- 4時間以上

(10) 【1つだけ選ぶ】インターネットの利用のしかたについて、親子（家族）でルールを決めていますか。

- 利用していないので、ルールはない
- 利用しているが、話し合ったこともないので、ルールも決めていない（→ (13)へ進む）
- 利用していて、話し合ったことはあるが、特にルールは決めていない（→ (13)へ進む）
- 利用していて、ルールを決めている（→ (11)へ進む）



(11) 【あてはまるものを全て選ぶ】上の(10)で「ルールを決めている」と答えた人に聞きます。それは次のうちどんなことですか。

- 利用する時間を決めている
- 利用する場所を決めている
- メールやメッセージを送る相手を制限している（決めている）
- 利用するサイトやアプリの内容を決めている（フィルタリングを含む）
- 他人を誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう…非難や悪口）する書き込みをしないなど、送信や投稿（とうこう）する内容や約束を決めている
- パスワードや電話帳情報、位置情報（GPS）などの利用者情報が漏れないようにしている
- ゲームやアプリの利用料金の上限（これ以上使わないという額を決めること）や課金（利用に応じて料金がかかること）の利用方法を決めている
- 困ったときは、すぐに家族などに相談するように決めている
- その他（↓※へ進む）

(12) ※上の(11)で「その他」を選んだ場合は、そのルールの内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

(13) 【あてはまるものを全て選ぶ】インターネットを利用して、次のようなことを『した』こと（経験：けいけん）がありますか。

- 悪口やいやがらせのメールやメッセージを送ったり、書き込みをしたりしたことがある
- 自分や友だち・他人の情報（名前、住所、学校名、写真、メールアドレス、IDなど）を送ったり掲示板などに書き込んだりしたことがある
- 親や家族に話しにくいサイトを見たことがある
- ゲームやアプリで、お金を使いすぎたことがある
- インターネットで知り合った人とメールやメッセージのやり取りをしたことがある
- インターネットで知り合った人と会ったことがある
- インターネットで知り合った人との人間関係で悩んだことがある
- インターネットにのめりこんで、勉強に集中できなかったり、睡眠不足（すいみんぶそく）になったりしたことがある
- その他（↓※へ進む）
- あてはまるようなことはない

(14) ※上の(13)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

★マークのしかた



(15) 【あてはまるものを全て選ぶ】インターネットを利用して、次のようなことを『された』こと（経験：けいけん）がありますか。

- 悪口やいやがらせのメールやメッセージを送られたり、書き込みをされたりしたことがある
- 自分の情報（名前、住所、学校名、写真、メールアドレス、IDなど）を送られたり、掲示板などに書き込まれたりしたことがある
- 知らない人やお店などからメールが送られてきたことがある（迷惑：めいわくメールをふくむ）
- インターネットで知り合った人から、「会おう」とさそわれたことがある
- その他（↓※へ進む）
- あてはまるようなことはない

(16) ※上の(15)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

これで質問は終わりです。それぞれの質問の「一つだけ選ぶ」「あてはまるものを全てを選ぶ」が、まちがいないかをもう一度チェックしてください。



## &gt;&gt;&gt; 「インターネット利用に関する実態調査」【保護者用】 &lt;&lt;&lt;

この調査は、インターネットの利用についての実態を明らかにするためのものです。  
 それぞれの質問であてはまる項目を、ていねいにぬりつぶしてください。（全部で4ページあります）

- ① 質問内容は、主に「保護者ご自身の状況や意識」と「お子さんの状況」で構成しています。  
 お子さんが複数の学校種に在学中の場合は調査を依頼された学校種のお子さんを、また、同じ学校種に複数在学されている場合でそれぞれの状況が異なる場合は、最もインターネットを利用しているお子さんを念頭にお答えください。
- ② 「インターネットの利用」については、学校以外の場面でお答えください。
- ③ 「利用していない人」は、質問ごとに何度も「利用していない」と答える必要がありますのでご注意ください。
- ④ 「1つだけ選んで答える」ものと「あてはまるものは全て選んで答える」ものがあります。  
 それ以外の答えがある場合は、「その他」を選び、次の※の枠の中にその内容を書いてください。

(1) 【1つだけ選ぶ】あなた（保護者自身）の立場（児童生徒との関係）についてお知らせください。

- 父親     母親     祖父     祖母     その他（↓※へ進む）

(2) ※上の(1)で「その他」を選んだ場合は、その立場（関係）を記入してください。（選んでいない場合は記入不要です）

(3) 【1つだけ選ぶ】あなた（保護者自身）は、携帯電話やスマートフォンを利用していますか。

- 利用していない
- 自分専用のものである
- 必要な時に家族のものを借りて利用している
- その他（↓※へ進む）

(4) ※上の(3)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

(5) 【あてはまるものを全て選ぶ】インターネットにつなぐことができる機器のうち、あなた（保護者自身）が日ごろ利用しているものはどれですか。

- 利用していない
- 携帯電話（ガラケー）またはスマートフォン（スマホ）
- ノートパソコンまたはデスクトップパソコン
- ポータブルゲーム機
- タブレット
- 携帯音楽プレイヤー（iPod touch など）
- その他（↓※へ進む）

(6) ※上の(5)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）



(7) 【あてはまるものを全て選ぶ】あなた（保護者自身）がよく利用するインターネットのサービスは、次のうちどれですか。

- 利用していない
- コミュニケーションに関するもの（メール、LINE、Facebook、Twitterなど、SNSとよばれるもの）
- ニュースや情報検索に関するもの
- 地図やナビゲーションに関するもの
- 音楽や動画（Youtube、ニコニコ動画など）に関するもの
- 電子書籍に関するもの
- ゲームに関するもの
- ショッピングやオークションに関するもの
- その他（↓※へ進む）
- わからない

(8) ※上の(7)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

(9) 【1つだけ選ぶ】あなた（保護者自身）が1日にインターネットを利用する時間は、だいたいどれくらいですか。

- 利用していない
- 30分未満（=30分より短い）
- 30分（以上）～1時間（未満）
- 1時間（以上）～2時間（未満）
- 2時間（以上）～3時間（未満）
- 3時間（以上）～4時間（未満）
- 4時間以上

(10) 【あてはまるものを全て選ぶ】あなた（保護者自身）は、次のようなインターネットを安心して利用するために注意しなければならない内容を知っていますか。

- 出会い系サイトや著作権等の違法情報の問題を知っている
- 公序良俗に反するような情報や成人向け情報等の有害情報に関する問題を知っている
- インターネット上のコミュニケーション（メール、LINE、Facebook、Twitterなど、SNSとよばれるもの）で注意すべき点を知っている
- クレジットカードの管理等の電子商取引に関する問題を知っている
- インターネットの過度の利用に関する問題を知っている
- 個人情報やパスワード等のプライバシー保護に関する問題を知っている
- ウィルス対策や不正アクセス対策等のセキュリティ対策に関する問題を知っている
- いずれも知らない



(11) 【1つだけ選ぶ】子どもさんの携帯電話やスマートフォンには、フィルタリング機能（有害情報等に接続しないようにするために、閲覧や利用を一定の基準で制限する機能）が設定されていますか。

- 子どもは、携帯電話やスマートフォンを利用していない
- フィルタリング機能が設定されている
- フィルタリング機能が設定されていない
- わからない

(12) 【1つだけ選ぶ】子どもさんのインターネットの利用のしかたについて、親子（家族）間でルールを決めていますか。（この質問の回答のために、子どもさんと確認することはしないでください）

- 子どもは利用していないので、ルールはない
- 利用しているが、話し合ったこともないので、ルールも決めていない
- 利用していて、話し合ったことはあるが、特にルールは決めていない
- 利用していて、ルールを決めている

(13) 【あてはまるものを全て選ぶ】上の(12)で「ルールを決めている」と答えた方に伺います。それは次のうちどんなことですか。

- 利用する時間を決めている
- 利用する場所を決めている
- メールやメッセージを送る相手を制限している（決めている）
- 利用するサイトやアプリの内容を決めている（フィルタリングを含む）
- 他人を誹謗中傷（非難や悪口）する書き込みをしないなど、送信や投稿する内容・約束を決めている
- パスワードや電話帳情報、位置情報（GPS）などの利用者情報が漏れないようにしている
- ゲームやアプリの利用料金の上限や課金（利用に応じて料金がかかること）の利用方法を決めている
- 困ったときは、すぐに家族などに相談するように決めている
- その他（↓※へ進む）

(14) ※上の(13)で「その他」を選んだ場合は、そのルールの内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）



(15) 【あてはまるものを全て選ぶ】あなた（保護者自身）は、子どものインターネットの利用について、どのような取組が必要だと思いますか。

- インターネット利用のルール作りなど、家庭における取組
- フィルタリングの使用を徹底させる
- フィルタリングの性能や機能を充実させる
- フィルタリングの操作方法や名称をわかりやすくする
- 安全な利用のための機能・設定について、業者が販売時に保護者にきちんと説明する
- 学校において、子どもに対する「情報モラル教育」を充実させる
- 学校の保護者会やPTAの会合、教育振興運動等の取組などで、保護者に対する啓発を充実させる
- 国・自治体や民間団体等が、保護者に対してインターネットの危険性や注意すべき点を説明する機会を設ける
- 相談機関・窓口を利用しやすいように改善する
- 保護者同士で気軽に相談できる関係をつくる
- 有害サイトへの規制を強化する
- 有害情報を掲載しているサイトの責任者に対する規制を強化する
- 各家庭で小中学生には携帯電話やスマホを持たせないようにする
- 小中学校への携帯電話やスマホの持込を禁止する
- その他（↓※へ進む）
- 特にない
- わからない

(16) ※上の(15)で「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。（選んでいない場合は記入不要）

(17) 【自由記述】「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組についてご意見がある場合は、簡潔にお書きください。

これで質問は終わりです。

それぞれの質問の「一つだけ選ぶ」「あてはまるものを全てを選ぶ」が、まちがいないかをもう一度チェックしてください。

ありがとうございました。